



## 「ハビタット福岡 市民の会」の発足

### 「ハビタット福岡 市民の会」 Citizens Net for Habitat Fukuoka

目次:

市民の会 発足	1
市民の会の活動	
ハビタットの活動	2
福岡事務所について	
第1回勉強会報告	3
ハビタットの目的	
第2回勉強会報告	3
ミャンマーの安全な水	
お知らせ 行事案内	4
入会のご案内	

国連人間居住センター(ハビタット)のアジア太平洋地域の窓口として福岡事務所が開設されたことを契機に、私たちの身近なところで国連の活動に触れることができるようになりました。

「居住」というのは、私たちすべてに共通した身近なテーマです。2015年には世界の55%の人が都市に住むと推測されていますが、「都市開発や都市問題」は誰にとっても切実なテーマになってきています。

こうした問題の解決に向けて、福岡に住む私たちにできることは何だろうと考え、アジア太平洋地域の居住の現状やハビタットの取り組みを多くの方々を知っていただくことから始めようと「ハビタット福岡 市民の会」が生まれました。

アジア太平洋地域に関心がある人、国際協力の団体で活躍している人、国連のことをもっと知りたいという人、ボランティア活動に関心がある人、さまざまな人がハビタット福岡事務所の活動を支援していこうと集まっています。

世界各地の国連機関で働く日本人スタッフが少なく、国際社会における日本の役割を十分果たしていないのではないかと指摘をよく聞きます。たとえ微力ではあっても、私たち市民の手で国連活動を支援する輪を広げ、国際社会に主体的に参画していけたら素晴らしいと思っています。定例会でのミーティングの他に、それぞれのグループ活動も動き始めました。あなたも参加しませんか。

**市民の会の定例会**  
毎月1回

原則として偶数月は勉強会です。  
会場：ハビタット福岡事務所  
または福岡市役所北別館会議室  
(日時・場所は市民の会のホームページでご確認ください)

### 「ハビタット福岡 市民の会」の活動

- ハビタットについて広く市民に伝える活動
  - 日本語リーフレット作成
  - 日本語ニュースレター編集・発行(年4回発行予定)
  - 日本語ホームページ編集・運営
  - 現地のプロジェクト紹介ビデオの日本語への翻訳・編集
  - 市民向けの写真展・セミナーなどの企画・運営
  - 世界ハビタットデーのイベント企画・運営
- 国際協力に貢献できる人材育成・地球市民の育成
  - ハビタットスタッフとの学習会企画・運営
  - 現地プロジェクト視察旅行(スタディツアー)の企画・実施
  - 地域の学校や青少年の育成団体への講師派遣
  - 他の市民団体との連携作り

## 国連人間居住センター (United Nations Center for Human Settlements)

### ハビタットの歴史と活動の特徴

ハビタットの成立は1978年10月。国連経済社会理事会の下部組織としての位置付けで、58ヶ国の代表で構成される「人間居住委員会」と、その事務局としての「人間居住センター」から成り、本部はケニアのナイロビにあります。主な活動としては、世界の人間居住環境向上のために(1)地球規模での包括的な調査・広報活動と(2)各国の住宅及び居住問題の解決に向けた支援活動という役割を担っています。

居住の問題は、特に開発途上国において重大です。社会的、経済的繁栄を求めて、人々は都市へ移動しますが、急激な人口集中による都市化の進行は、同時に都市の生活環境の劣悪化をもたらします。住居をはじめ、水、保健衛生、交通、教育などの基盤確保は急務であるといえます。近年、ハビタットは「都市」の問題に取り

組むという姿勢をより明確にしつつあります。一方、自然災害や戦災などの被災地における居住再建や地域復興の支援にも取り組んでいます。

ハビタットの技術協力活動では、「sustainable(持続可能な)」「participatory(参加型の)」「community based(地域のコミュニティに基盤を置いた)」などの言葉がよく出てきます。また、中央政府、地域自治体、民間部門、コミュニティ組織やNGOなどとのパートナーシップが重要であると認識されています。ハビタットが取り組んでいる「人間居住環境」は、身近な問題だけでも一言では言い表せない奥の深さ、広範さが特徴であり、様々なアプローチが可能なことも魅力であるといえるでしょう。

- 1976年 第1回国連人間居住会議 於バンクーバー
- 1978年 国連人間居住センター(ハビタット)設置
- 1987年 国際居住年
- 1996年 第2回国連人間居住会議 於イスタンブール  
「ハビタット・アジェンダ」及び「イスタンブール宣言」採択
- 1997年 国連人間居住センター福岡事務所開設

「ハビタット」という言葉を辞書などで調べると「居住、生息地」といった意味であることがわかります。人間居住環境の改善に向けて、世界の都市化や居住の問題に取り組む国連人間居住センターの通称として、ラテン語のこの言葉はたいへんふさわしいものと言えるでしょう。

### 国連人間居住センター(ハビタット)福岡事務所協力委員会

- 顧問 福岡県 麻生渡知事 福岡市 山崎広太郎市長
- 会長 九州・山口経済連合会 川合辰雄顧問
- 副会長 福岡商工会議所 後藤達太会頭 北九州商工会議所 古賀義根会頭

#### <委員企業> (50音順)

- 麻生セメント(株) アポロ電子工業(株) 北九州コカ・コーラボトリング(株)
- 九州電力(株) 九州松下電器(株) 九州旅客鉄道(株) (株)九電工 コゲツ産業(株)
- 三洋信販(株) 西部瓦斯(株) 昭和鉄工(株) (株)新出光 新日本製鐵(株) 八幡製鐵所
- (株)ゼンリン (株)高田工業所 田中藍(株) (株)筑邦銀行 東陶機器(株)
- (株)トクスイコーポレーション (株)西日本銀行 西日本鉄道(株) 日本タンクステン(株)
- (株)福岡銀行 (株)福岡シティ銀行 福岡地所(株) (株)福岡中央銀行(株)福岡ドーム
- (株)ブリヂストン久留米工場 明治屋産業(株) (株)安川電機

### ハビタット福岡事務所

福岡事務所は、地域レベルでの事業活動強化を図ることを目的に、アジア太平洋地域を管轄する地域事務所として、1997年8月1日に開設されました。この地域における技術協力活動がナイロビの本部から移管され、1999年4月末現在では、域内の23ヶ国において61の技術協力プロジェクトに取り組んでいます。

ハビタット福岡事務所の活動を支援する機関として、国連人間居住センター(ハビタット)福岡事務所協力委員会が設けられ、財政的支援をしています。アジアとの共存をめざす福岡にとって、ハビタット福岡事務所はアジアと福岡をつなぐ接点になるだけでなく、環境にやさしい循環型社会づくりにおいてもお互いに学び合うパートナーになっていくことが期待されています。

## 第1回勉強会 1999年2月18日 ハビタットの目的と福岡事務所の役割



Disa Weerapanaさん

第一回の勉強会では、「ハビタットとは？—ハビタットの目的と福岡事務所の役割」をテーマに、ハビタット福岡事務所副所長のDisa Weerapanaさんのお話を伺いました。スクリーンやスライドを中心に、Disaさんもメンバーの輪の中に入っての勉強会となりました。

これまでの「国際機関・ハビタット」という堅苦しいイメージから離れ、実際の現場の写真を見ながらの講演で、世界の人々の生活環境がとて身近な問題だと感じられました。

Disaさんの専門は居住と都市政策で、都市化の必要性と自然環境の重要性についてのお話が主になりました。

特に印象に残っているのは、生活排水が川に垂れ流しになっているにもかかわらず、同時にその川が子供たちの遊び場になっている写真です。日本では上下水道の整備が整っており、排水が流れる川では遊ばないよう注意を受けます。日本では当然だと思われることですが、それが行われていない国があります。生活に直接関係のある問題であ

り、これらの問題を解決するために国際機関であるハビタットがあり、アジア・太平洋地域の拠点として福岡事務所が存在する、ということを実感しました。

講演終了後は、メンバーの質問に答えていただきました。質問者が増えてくると、講師と聴講者という関係ではなく同じテーマについて論議している仲間という感覚で、通訳を通さずに直接英語で質問された方もいました。

福岡事務所は決して大規模ではありませんが、重要な役割を担っており、これらの問題を解決するために私たちが日常生活の中で協力していくことができるのだということを実感しました。ハビタットは、遠く離れた国連の中にあるのではなく、私たちの生活の中に存在しているのだと思います。今後も、このような勉強会を通して世界のことを知り、世界規模で考え、地域で行動していくことのできる会にしたいと思います。

Reported by Mayumi Nakamura



ハビタット福岡 市民の会の勉強会

## 第2回勉強会 1999年4月22日 ミャンマーの上水道と公衆衛生

第2回勉強会の講師はハビタット福岡事務所上級人間居住アドバイザーのヤン・メイウツセン氏。オランダ出身で、エンジニアの技術と経験を生かし、開発プログラムをコーディネートなさっています。

今回のテーマは、ミャンマーのプロジェクト。—安全な水と公衆衛生—でした。ミャンマーと言ってもイメージがつかめないのので、まず、ビデオで現地の様子を把握。暑い中、ミャンマーの人々が灌漑施設を作るのに一列に並んで農道具で作業している姿が印象的でした。先進国から機械を持ってきて使えば早いのですが、それでは、自分たちで作った灌漑システムに比べ有り難さが少ない、手入れや故障の際、自分たちでメンテナンスができない、との観点から、あくまでもその地域と人々に利があるように、コミュニティの参加を促すことを重要視しているそうです。

水が無い乾燥地帯、水はあるが海からの塩水が入るデルタ地帯など、淡水を得るために苦労しているところが対象地域です。下痢をはじめと



ヤン・メイウツセンさん



地域住民が主体となってプロジェクトを進めていくことが大切です。

する病気の蔓延も淡水の確保を水の衛生的な使い方を教えることで減少しました。

UNDP(国連開発計画)の一部であるこのプロジェクトは、3770の村、180万人が対象で、今後の第3期プロジェクトも確定。

ミャンマーについてほとんど知らなかった参加者も、ヤン氏の丁寧かつ親切な説明で、一度現地を訪ねてみたいと思った人も少なからずいるのでは？

Reported by Junko Noda

## お知らせ

## 市民の会/ハビタット福岡事務所のセミナーやイベント

- 公開シンポジウム「ハビタット・アジア地域活動報告」  
内容：ハビタット現地スタッフによるアジア諸国の現状と活動状況の報告とパネルディスカッション  
日時：6月27日(日) 10:00~18:00  
場所：九州大学箱崎キャンパス留学生センター1階
- 「カンボジア写真展」  
日時：7月19日(月)~25日(日)  
場所：アクロス福岡2階 メッセージ・ホワイエ
- 公開セミナー「カンボジアの居住環境の現状と福岡からの協力」  
講師：国連人間居住アドバイザー 佐藤摩利子さん、他  
日時：7月25日(日) 14:00~16:00  
場所：アクロス福岡2階 セミナールーム
- 市民の会 定例会  
日時：8月19日(木) 19:00~21:00
- 世界ハビタットデー 写真展「わたしたちとハビタット」  
日時：10月4日~10月10日 10:00~19:00  
場所：アクロス福岡2階 メッセージ・ホワイエ
- 世界ハビタットデー 公開セミナー  
日時：10月4日(月) 13:30~17:00  
場所：アクロス福岡4階 国際会議場
- 世界ハビタットデー 市民フォーラム  
「国連ハビタットって何だろう?」  
日時：10月4日(月) 18:30~20:30  
場所：アクロス福岡1階 円形ホール
- 国際交流協会主催「国際協力キャンペーン」への参加  
日時：10月9日(土)~10日(日)  
場所：ソラリア1階 ゼファー

## ハビタット福岡市民の会事務局

〒810-0001  
福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡8F  
国連人間居住センター福岡事務所内

電話：092(724)7121/23  
Fax：092(724)-7124  
Email：habitat.fukuoka@unohs.org

ホームページもご覧ください  
<http://www.fukuoka.unohs.org>

ホームページでは定例会・勉強会の報告や運営委員会の議事録も掲載しています。伝言板からメッセージも送っていただけます。

## ＜入会のお申し込み＞

気軽に勉強会や定例会へご参加ください。入会希望の方はお名前とニュースレターの送付先をハガキ、FAX、Emailでお知らせの上、年会費1,000円をお近くの郵便局でお振り込みください。  
口座：ハビタット福岡市民の会  
01730-0-76434

## ハビタット福岡市民の会 事務局ボランティア募集中

平日の昼間の時間帯に事務局の業務（入会受付、会員連絡、ニュースレター編集など）をお手伝いいただける方を募集しています。関心のある方は、FAXかEmail、ホームページの伝言板でご連絡ください。事務局よりご連絡差し上げます。

## とびっくす

- ハビタット福岡事務所が昨年6月29日から7月1日に開催した地域会議の報告書（Promoting Sustainable Consumption in Asian Cities）ができあがりしました。この報告書は、ハビタット福岡事務所の誘致に尽力された前国連ハビタット推進議員連盟事務局長の故横尾和伸議員の奥様からの寄付によって印刷され、国内外の関係者に配布されます。
- ある市民の方より、最近亡くなられたご家族のお香典返しをハビタット福岡事務所に寄付したいという申し出をいただきました。寄付金は市民の会の活動に活用させていただきます。ご冥福をお祈りします。

## 編集後記

第1号ということで、ハビタットと福岡事務所について紹介しました。ニュースレターは、多くの方々にハビタットの活動を知っていただく場でもあり、会員同士の意見交換やミーティングに出席できなかった会員の方への情報提供の場でもあります。皆様の活発なご意見をお待ちしています。FAXかEmail、ホームページの伝言板でどしどしお寄せください。

編集担当：ニュースレターグループ  
(田村、古川、末續)